

カナダの金融市場動向 Weekly Report

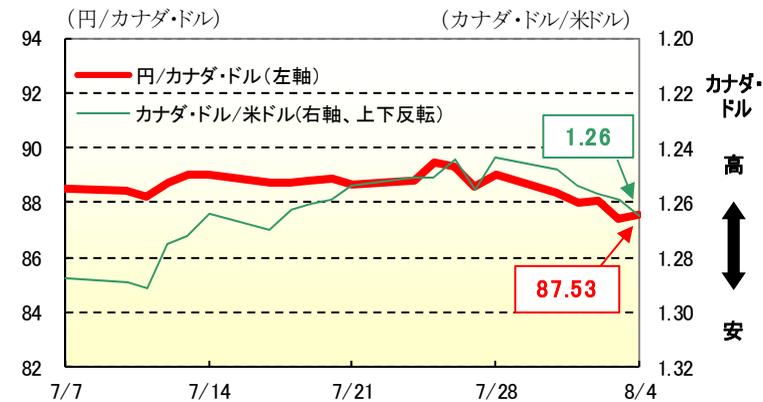
【2017年7月29日～2017年8月4日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

週前半は、米国の金利が低下したことなどを背景に、カナダの金利は低下し、カナダ・ドル円も下落しました。週後半は、雇用統計において失業率が市場予想よりも低水準であったことや、米国の雇用統計において非農業部門雇用者数が市場の予想以上に増加したことなどが、金利やカナダ・ドル円の上昇圧力となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年7月7日～2017年8月4日)



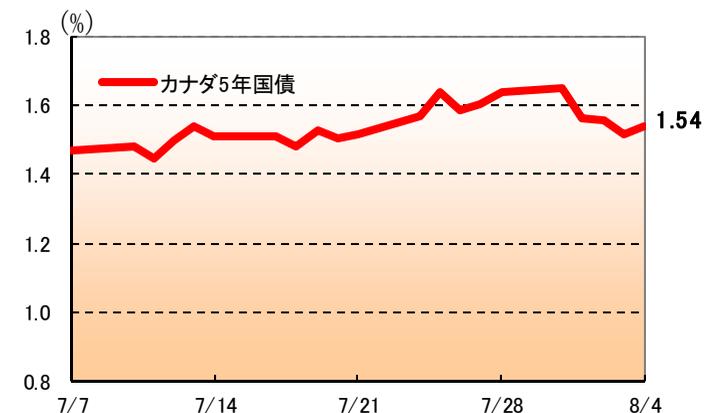
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

カナダは、経済が堅調に推移していることで追加の利上げが期待されることや、欧州や米国など世界的に金融政策が緩和から正常化へ向かう流れとなっていることなどから、金利は上昇圧力が優勢になるとみられています。

今週は、カナダ独自の材料は乏しく、米国で発表されるCPI(消費者物価指数)に注目が集まると考えています。当該指標が市場予想を上回る結果となれば、米国金利の上昇が見込まれ、それに連れてカナダの金利やカナダ・ドル円の上昇圧力が高まるとみられています。

【カナダ 金利推移】 (2017年7月7日～2017年8月4日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>